

2023年9月1日

マンスリーレポートNo.12

プラネタリウム 100周年記念事業
～地上の星空 ドイツに生まれて1世紀～

みなさま、こんにちは。

コスモプラネタリウム渋谷の永田です。

夏休みも終わり、いよいよプラネタリウム 100周年記念日の10月21日が近づいてきました。イベントをされるプラネタリウム館のみなさまや個人的に100周年を祝いたいというみなさんもいらっしゃるかと思います。

10月21日のイベントでは全国一斉に100年前のドイツの星空を眺めます。

イベント内容については、以下をご覧ください。全国どこるか世界を繋ぎます！

山崎直子宇宙飛行士もゲスト出演します！

100年に一度の年ですから、みなさん最後まで盛り上げて今を楽しんでいきましょう！

永田美絵

今回のもくじです。

- 全国一斉プラネタリウム 100周年記念イベントについて（担当 井上毅）
- カウンタウンカウンター参加者まだまだ募集中！（担当 塚田健）
- 2023年アジア太平洋地域 IAU 会議（APRIM2023）ブースの出展の報告（担当 井上毅）
- 動画チームより（報告：井上拓己、西野藍子、野村美月）
- ホームページにマンスリーレポートを掲載しました
（担当 鈴木裕司、齋藤正晴、西野藍子）
- プラネタリウムの歴史解説パネル公開中！
日本のプラネタリウム史 WG（代表：安藤亨平、副代表：齋藤正晴）

.....

- 全国一斉プラネタリウム 100周年記念イベントについて（担当 井上毅）

2023年8月22日付で JPA-ML でご案内しました。ライブ配信部分のタイトルがあるとわかりやすいので、スペシャルライブ配信「みんなで見上げよう！100年前の星空」としました。各館のイベントタイトルは、各館で設定してください。

名称 全国一斉 プラネタリウム 100 周年 記念イベント
スペシャルライブ配信「みんなで見上げよう！100 年前の星空」

日時 2023 年 10 月 21 日 19:00-19:50 (共通タイム)

内容 2023 年はドイツで近代的なプラネタリウムが生まれて 100 周年。これを記念して、日本全国のプラネタリウム館を Zoom でつないで一斉イベントを開催します。世界からのメッセージやオリジナル映像を交えつつ、プラネタリウムが誕生した 100 年前の星空を映し出します。100 周年を全国一斉にお祝いしましょう！YouTube でも配信予定。YouTube のパブリックビューイングも可です。

主催 各会場館 共催 JPA (共通タイム部分の提供)

進行 井上毅 (明石市立天文科学館)、永田美絵 (コスモプラネタリウム渋谷)

ドイツから中継 毛利勝廣 (JPA 理事長 名古屋市科学館)

ゲスト 山崎直子 (宇宙飛行士) ※ほかにも出演者調整中です。

参加申請フォーム (JPA 会員用) を用意しましたのでご案内します。

申し込み締め切りは 9 月 20 日とします。

<https://forms.gle/z7RR7p8fxxDyXemr6>

ホームページ記載などの準備の都合上、できるだけ早くおしらせいただけましたら幸いです。イベントが充実した内容になるよう情報交換などをおこなうオンライン・ミーティングを複数回実施予定です。

アンケートの質問

Q 本イベントの対象 (年齢) をご教示いただきたいです。(大人向け、小学生以上推奨など、お客様向けにご案内する目的です。)

A

共通タイムにおいては特に対象とする年齢は設定していませんが、一般向けの内容になると想定しています。もちろん子どもたちの参加も歓迎します。

Q 100 周年記念公認事業の申請は不要でしょうか

A 本イベント専用の参加申請フォームに申請してください。

Q 当時の星像はどれくらいの直径だったか分かりますでしょうか。例えばドイツ博物館の 16m 径に対し、シリウスは何cmの星像だったのでしょうか。今の光学式プラネタリウムよりは、ぼやけた星像だったとお聞きしています。各館のドーム径が異なるためドームマスター等で全館一斉に実現するのは難しいと思うのですが、おおよそ目安が分かりましたら当

館ではプログラムして再現したいなと思いました。

A 興味深い質問です。ツァイス I 型は、直径 50 センチの真鍮製の恒星球に 31 個のレンズ光学式恒星投影ユニットが配置され、球の中央には 500W の電球が置かれました。6 等まで 4500 個の恒星が投影できました。文献によると、I 型の原板のシリウスの星像サイズは原板上で 0.76 mm で、投影時には約 20 分角だったようです。これは月の 30 分角に比較すると大きく感じますが、月のサイズは錯視を考慮して 1 度に設定されえいたため、違和感は感じなかったようです。(II 型ではシリウスは別投影機になりました) それ以外の恒星は小さく、それほどぼやけたものではないと考えられます。(6 等星は 3% のサイズ) 100 周年のポスターにはドイツ博物館で投影された北斗七星を確認できますが、ぼやけた感じではないようです。また、ドイツのロムケさんは、ツァイス I 型 2 号機を整備して投影を公開しています。それを見学した中山満仁さんによると、十分シャープな星像だということです。少なくとも現在のデジタル式よりはシャープと思われるので、当時の星像をドームマスターで再現するというのは難しいのでは、という気がします。

■カウンタダウンカウンター参加者まだまだ募集中！(担当：塚田健)

Twitter や Facebook で展開中の 100 周年 10 月 21 日までのカウントダウン企画、まだまだ参加者が足りません！

(50 日前からは毎日カウントダウンを企画しているので)

100 日前、90 日前、……60 日前まで集まってきましたので、ぜひその様子をご覧ください！

■2023 年アジア太平洋地域 IAU 会議 (APRIM2023) ブースの出展の報告 (担当 井上毅)

福島県郡山市で 2023 年アジア太平洋地域 IAU 会議 (APRIM2023) が開催され、39 の国と地域、470 人の参加がありました。JPA として、ブースを設け、プラネタリウム 100 周年のアピールをおこないました。あわせて、参加者から、プラネタリウムの思い出やメッセージをいただきました。メッセージは今後共有し、イベント等で活用いたします。(参照 JPA-ML 8 月 22 日)

日程 2023 年 8 月 7 日 (月) ~ 8 月 11 日 (金)

会場 ビッグパレットふくしま (福島県郡山市)

ブース出展内容

- ・ペーパードーム (100 周年 PV 放映)
- ・日本のプラネタリウム紹介パネル

・メッセージコーナー

担当 井上毅（7-8日）、田中里佳（7-11日） 齋藤泉（10-11日）

※ペーパードーム設営にあたり GOTO image works 安田さんには大変お世話になりました。感謝いたします。

※鹿児島で開催されました8月23~25日にかけて GHOU2023（天文教育普及の国際研究会）が鹿児島で開催され、リナシティかのや大浦さんが、プラネタリウム100周年に関連し、日本のプラネタリウムの取り組みを紹介されました。こども絵画コンクールの動画はとても好評だったとのこと。各地のコミュニティにおいて、プラネタリウム100周年の広報を行っていただけることはとても素晴らしいことと思っています。大浦さん、ありがとうございました。

■動画チームより

（報告：井上拓己、西野藍子、野村美月）

皆さんのプラネタリウム施設等では、日本版プラネタリウム100周年のプロモーション映像（日本版PV）はご活用いただいていますでしょうか？

<https://100.planetarium.jp/?p=2174>

今回のマンスリーレポートの〈国際関連〉のトピックとして報告されていた APRIM2023 の JPA ブースにて、この日本版 PV を国内外の天文学者の方たちにも披露すべく、英語字幕付きで上映しました。

今回制作した英語字幕併記版の動画データは、他のバージョンと同様に YouTube にて公開したほか、2k×2k のドームマスターmp4 形式のみですが、ダウンロード用のデータもご用意しました。ご入用の方、どうぞご活用ください！

<https://youtu.be/4dw1iB6NiJQ?si=rybnROvX4rXI8H21>

（ダウンロード用の直リンクは <https://tinyurl.com/34bkyhdn> または、YouTube ページの動画説明欄から。）

■ホームページにマンスリーレポートを掲載しました

（担当 鈴木裕司、齋藤正晴、西野藍子）

これまでプラネタリウム100周年記念事業についてメーリングリストでお知らせしていましたが、過去の分も含めてホームページで公開しました。

https://100.planetarium.jp/?page_id=598

一覧で見やすくなっている他、JPA 会員以外の施設・個人の方にもこれからの動きを知っていただけるようになりましたので、プラネタリウム 100 周年に興味を持たれている方への情報提供等にご利用ください。

なお、メールリストでお知らせしてから掲載までに、若干の時間差が生じますことをご了承ください。

■プラネタリウムの歴史解説パネル公開中！

日本のプラネタリウム史 WG（代表：安藤亨平、副代表：齋藤正晴）

先月のマンスリーレポートでも紹介した「歴史解説パネル」について、一部を除き公開中です。こちら製作・公開が遅れておりました申し訳ございません。下記のページよりダウンロードが可能ですので、どうぞご確認ください。

<https://100.planetarium.jp/?p=2186>

※文章・フォント・サイズなど、編集・変更自由です（pdf データは ai データと同様の改変が可能）

※データは更新する可能性があります（表記やレイアウトの修正など）のでご注意ください

※画像のクレジットは必ず表記してください

※画像のみを抜き出して使用することは禁止です

※デザインイメージを大きく変える改変は禁止です

※データの再配布・直リンクは禁止です

その他、ご意見やご要望などがありましたら 100 周年記念事業のホームページよりお問い合わせください。

現在も鋭意制作中でご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしく願いいたします。

.....